

子宮頸管縫縮術を受ける患者様へ

患者氏名： \_\_\_\_\_ 様 入院病棟：9階東病棟 主治医： \_\_\_\_\_ 担当助産師： \_\_\_\_\_ No1/1

	入院1日目 (手術前日まで)	入院2日目 手術当日	入院3日目 術後1日目	入院4日目 術後2日目	入院5日目 術後3日目	入院6日目 術後4日目	入院7日目 術後5日目 退院
	<b>目標</b> 毎日看護師と評価します	<input type="checkbox"/> 手術を受ける準備ができる <input type="checkbox"/> 手術前後の状態や経過について理解できる		<input type="checkbox"/> 子宮収縮の増強がない <input type="checkbox"/> 持続的な性器出血がない <input type="checkbox"/> 体温、脈拍、血圧が正常範囲内で経過する <input type="checkbox"/> 医師の指示に基づいた安静度の範囲内で行動できる		<input type="checkbox"/> 鮮赤色の性器出血がない <input type="checkbox"/> 検査データに異常がない <input type="checkbox"/> 検査データに異常がない <input type="checkbox"/> 検査データに異常がない	
<b>内服注射</b>	 手術前 点滴をします	手術後 500mlの点滴を4本します 抗生剤の点滴を朝・夕方2回します 子宮収縮抑制剤の点滴をする場合があります。	指示により500mlの点滴を2本します		内服薬の指示がある方は、内服方法の説明をします		
<b>検査</b>			採血があります		採血があります		採血、検尿、体重測定があります
<b>治療処置</b>	体温・血圧・脈拍を測ります 胎児心音を確認します 陰部の毛の処理があります		体温・血圧・脈拍を測ります 手術後、腔の中にガーゼが入る場合は、違和感を感じる事があります	診察があります(腔の中にガーゼがある方は抜きます) 9~10時頃回診があります お腹の張りや痛みの有無をお聞きします	*医師の指示により、適宜診察があります		退院診察後に、次回受診予約票、母子手帳を受け取り、退院です
子宮収縮を確認するモニターをつけます							
マニキュアは落としてください。義歯やコンタクトは外してください 指輪・ネックレス・時計・眼鏡・ヘアピンなどの貴金属ははずしてください							
<b>食事・飲水</b>	普通食(飲食できる時間が決まります)	飲食できません	入室し3時間後、腸の動きを確認した後に飲水できるようになります 陰部を拭いてナプキン交換をします 夜、洗面のお手伝いをします	普通食です			
<b>清潔</b>	シャワー浴できます			朝、洗面のお手伝いをします タオルで身体を拭き、更衣をお手伝いします トイレの時はウォシュレットを使用しナプキンを交換して下さい	診察の結果によりお伝えします		
<b>排泄</b>	前日の便の回数を聞きます(退院まで毎日です)		手術室で尿の管が入ってきます 排ガスの有無をお聞きします	医師の診察により、尿の管を抜き、トイレまで歩いて頂きます			
<b>安静活動</b>	制限はありません		ベッド上安静・2~3時間おきに体の向きを変えるお手伝いをします	医師の診察があるまではベッドで横になったままお過ごしください。診察後、安静の状態が決まります	( / ) ベッド上安静 ( / ) トイレ・洗面の歩行が可能となります ( / ) シャワーが可能となります ( / ) 病棟内自由となります(*売店には行けません) ( / ) 病院内自由となります		
<b>説明指導</b>	担当医師から手術の説明があります。今後の経過について助産師から説明があります 麻酔科医師・手術室看護師からの説明があります。お部屋でお待ち下さい	手術衣に着替えます 血栓予防のための弾性ストッキングを履きます	お腹が痛かったり、張るときは教えて下さい				*毎日、日常生活の行動範囲やその日の予定について、朝、担当の助産師から説明させていただきます *助産師から退院後の生活の注意点について、パンフレット「赤ちゃんと一緒に」を用いて説明があります

注) 現時点で考えられる予定であり変更になることがあります